

平成 28 年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業（二次公募） 採択課題一覧

事業名	代表事業者	共同事業者	概要
大型 LNG トラックおよび最適燃料充填インフラの開発・実証事業	いすゞ自動車（株）	シェルジャパン（株）、（一財）環境優良車普及機構	航続距離 1,000km 以上を実現する大型 LNG トラックの開発を行い、最新のディーゼル重量車燃費基準から CO2 排出量を 10%程度削減するとともに、燃料充填インフラとなる L+CNG スタンドの構築により、運輸部門の更なる CO2 排出削減を実現する。
バイオガスを原料とした水素製造に於ける CO2 削減に関する分離技術の開発と実証	京都大学	CO2 Membrane Tech（株）	高度な選択性と透過性を有する分離膜を開発し、汎用膜と比較して選択性が 2 倍、透過速度が 100 倍、サイズが 1/8 となる分離膜を用いたバイオガスからメタンへの精製及び同様に選択性が 40 倍、透過速度が 10 倍、サイズが 1/30 となる分離膜を用いたメタン改質ガスから水素への精製を行い、水素の分離・回収における低炭素化を実現する技術の開発・実証により、CO2 排出削減を図る。
夏の太陽熱と家庭内排湯熱を活用した燃料ゼロの低温融雪システム技術開発	（株）トラストプラン	弘前大学、（株）青工	家庭内排湯熱と夏場の太陽熱を浅層地中に蓄熱し、熱エネルギーマネジメント技術を通して地中温度を適切に保つ、従来の電熱融雪・灯油ボイラー融雪と比較して CO2 排出量が極めて少なく、低コストである低温融雪技術の開発・実証により民生部門の低炭素化を図り、CO2 排出削減を実現する。
液式デシカントと水冷媒ヒートポンプの組合せによる高効率空調システムの開発	早稲田大学理工学術院	ダイナエアー（株）、川崎重工業（株）、（一財）エネルギー総合工学研究所	業務用空調システムの最適化を実現するため、低温再生が可能な液式を用いたデシカント除湿装置と水冷媒式を採用したヒートポンプを組み合わせ、CO2 排出量を従来システム比 40%以上削減可能な空調システムを開発・実証し、業務部門の更なる CO2 排出削減を実現する。
洋上風況の観測システム及び推定に関する技術開発・実証事業	（一財）日本気象協会	エコ・パワー（株）	洋上風力発電の初期投資の負担軽減を図るため、従来の 1/10 程度の低コストで設置可能な洋上ブイとドップラーライダーを組み合わせた洋上風況観測システム及び洋上特有の気象・海象を考慮した風況推定手法の開発・実証を行い、洋上風力発電の導入を促進し、CO2 排出削減を図る。

※上記は採択時の状況に基づく内容であり、評価委員会の指示等により内容に変更が生じることがあります。